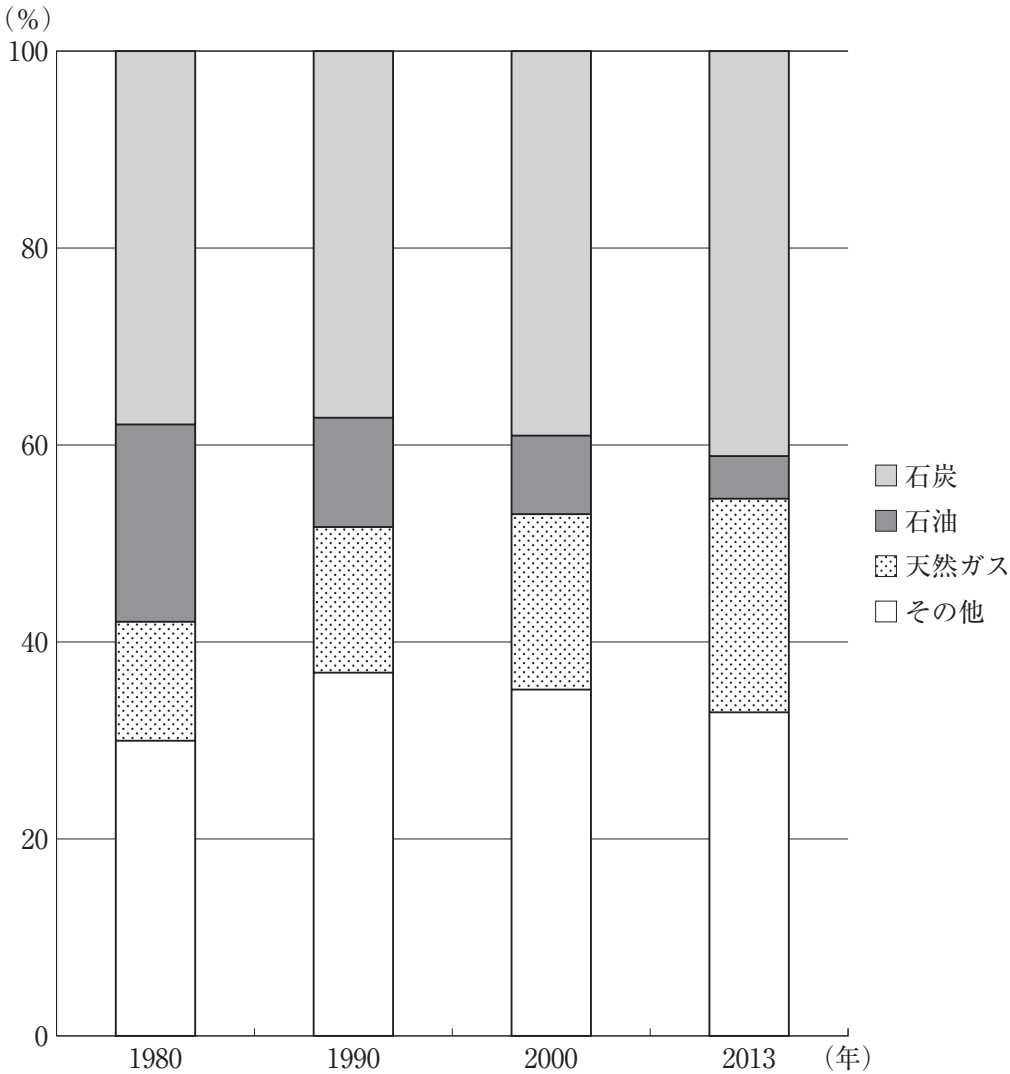


3 地球的課題の地理的考察に関して、問 1～問 4 に答えよ。

問 1 アサミさんは、世界のエネルギー問題に興味を持ち、資料 1～資料 3 を得た。これらの資料から読み取った文として最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。
解答番号は 9 。

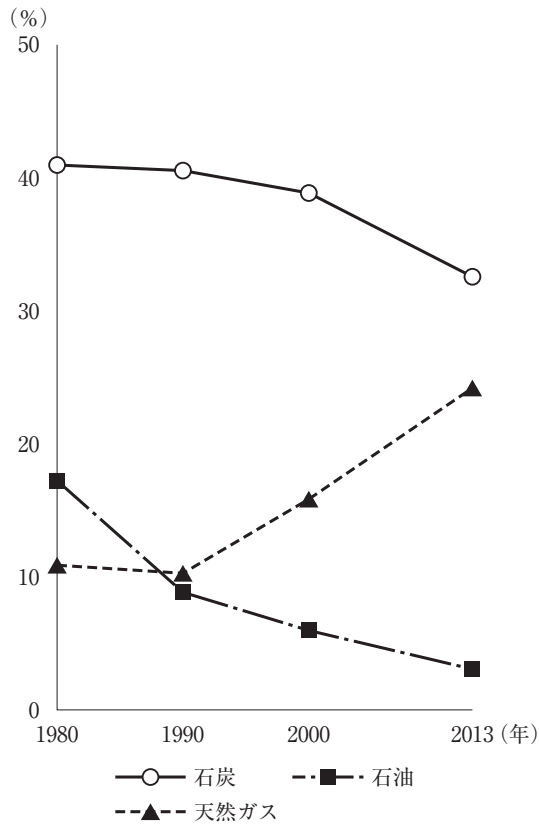
資料 1 世界の電源構成の割合



(「アジア／世界エネルギーアウトLOOK 2015」により作成)

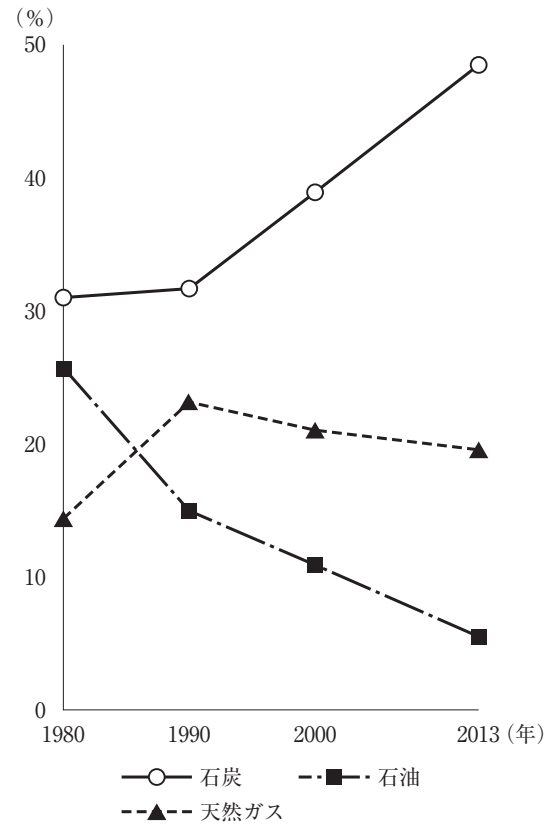
資料2 経済協力開発機構(OECD)

加盟国の電源構成の割合



資料3 経済協力開発機構(OECD)

非加盟国の電源構成の割合



注) ・OECDとは、日本を含む先進国等の35か国が加盟し、先進国間等の自由な意見交換・情報交換を通じて、経済成長、貿易自由化、途上国支援に貢献することを目的とした組織のことである。

(「アジア／世界エネルギーアウトルック 2015」により作成)

- ① 資料1から、世界の電源構成の割合が1990年と2013年を比較して高くなっているのは、石炭だけである。
- ② 資料1と資料2から、石炭は、2013年の世界の電源構成の割合のうち40%以上を占めているが、2013年のOECD加盟国の電源構成の割合では20%以下である。
- ③ 資料1と資料3から、石油は1980年から2013年にかけて、世界全体の電源構成に占める割合は低くなっているが、OECD非加盟国の電源構成に占める割合は高くなっている。
- ④ 資料2と資料3から、1990年と2013年を比較すると、OECD加盟国の電源構成の割合では、天然ガスの割合が高くなっており、OECD非加盟国の電源構成の割合では石炭の割合が高くなっている。

問 2 アサミさんは、水資源の利用について興味を持ち、資料 4 と資料 5 を得た。資料 5 中の A ～ C は、それぞれ工業用水、生活用水、農業用水のいずれかを示している。A ～ C に当てはまる語の組合せとして最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。

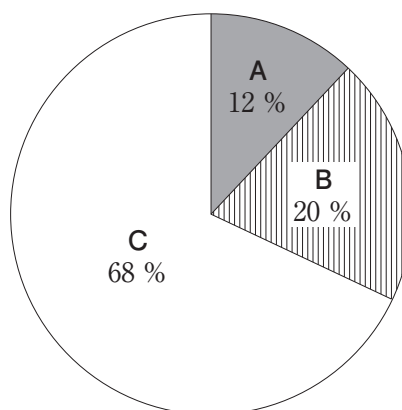
解答番号は 10。

資料 4

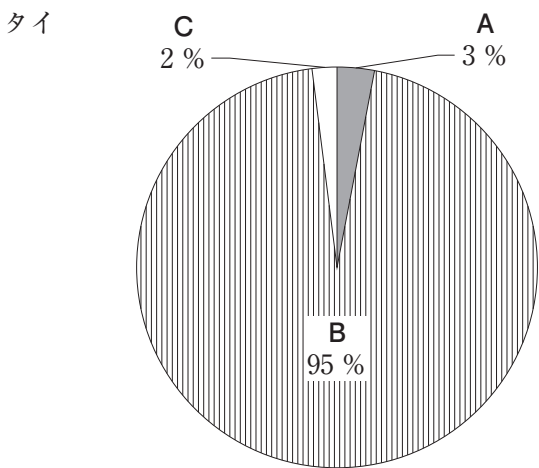
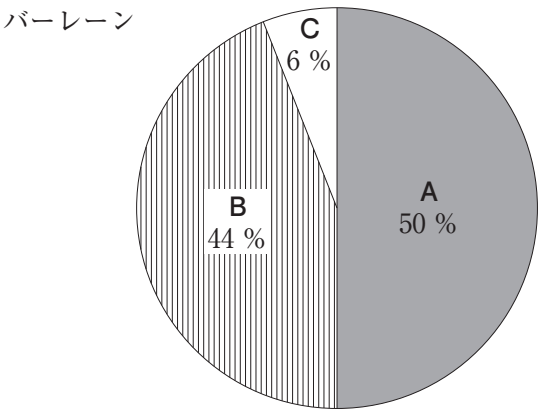


資料 5 ドイツ、バーレーン、タイにおける水資源の利用割合

ドイツ



(『水の世界地図』により作成)



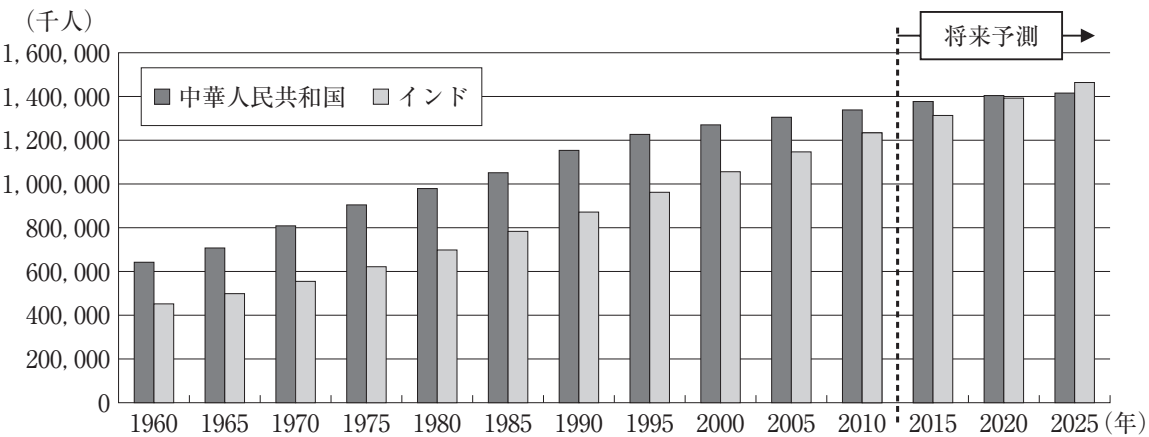
(『水の世界地図』により作成)

	A	B	C
①	工業用水	生活用水	農業用水
②	生活用水	工業用水	農業用水
③	生活用水	農業用水	工業用水
④	農業用水	工業用水	生活用水

問 3 アサミさんは、インドと中華人民共和国の人口の変化に興味を持ち、資料 6～資料 8 を得た。資料 7 中のア、イおよび資料 8 中のウ、エは、それぞれインド、中華人民共和国のいずれかに関するものである。アサミさんと先生の会話文中の空欄 **X**，**Y** に当てはまる記号の組合せとして最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。

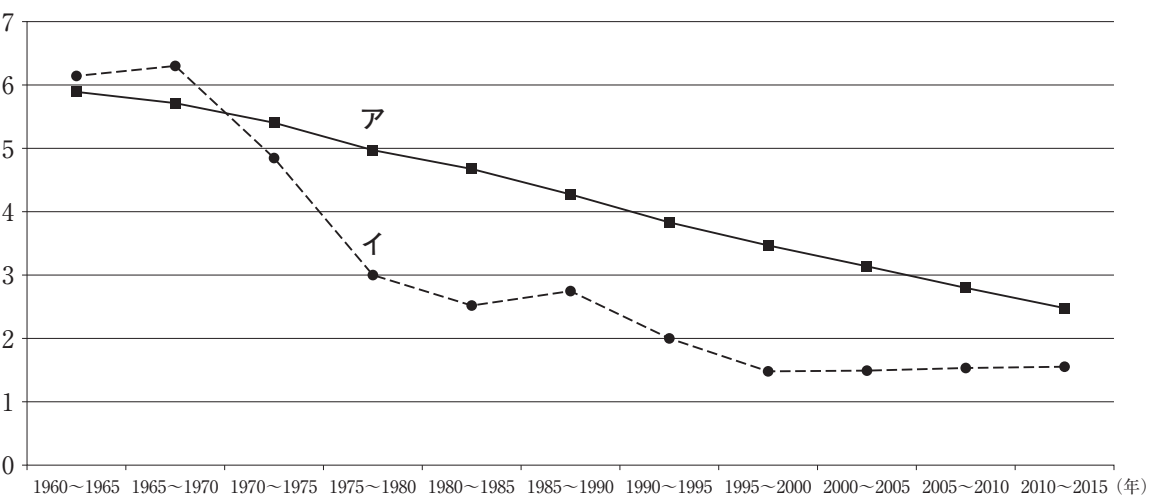
解答番号は **11**。

資料 6 インドと中華人民共和国の人口の推移



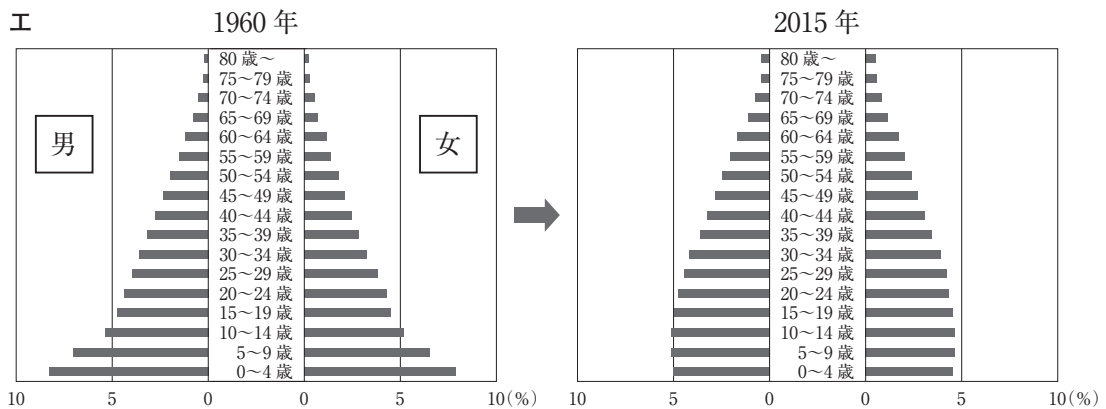
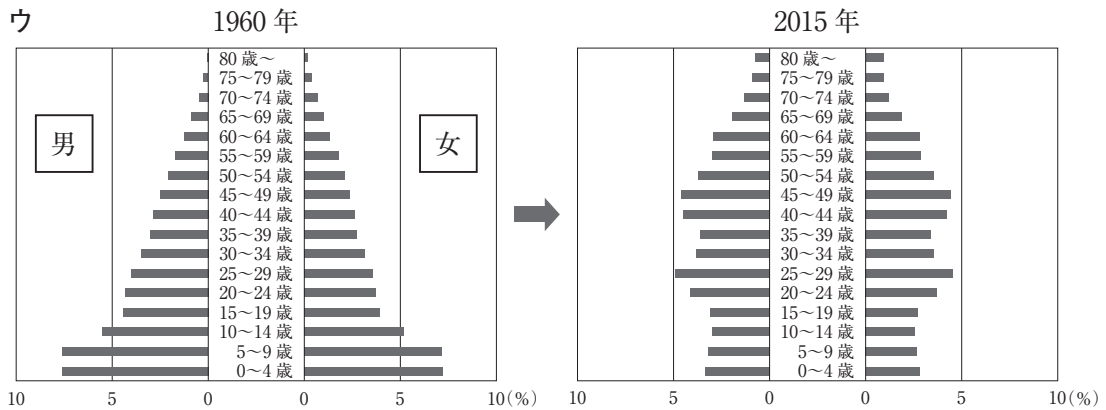
注) 2015 年以降は、予測値を示している。

資料 7 インドと中華人民共和国の合計特殊出生率の推移



注) 合計特殊出生率とは、一人の女性が一生の間に産む子どもの数を示す。
(「国際連合・世界人口予測 1960-2060 2015 年改訂版」により作成)

資料8 インドと中華人民共和国の人口ピラミッド(1960年, 2015年)



(「国際連合・世界人口予測 1960-2060 2015年改訂版」により作成)

先生：インドは資料6で示されているように、2025年には中華人民共和国の人口を越すと予測されていますが、なぜでしょうか。資料を基に考えてみましょう。

アサミ：資料7から両国の合計特殊出生率について、1960年～1965年と2010年～2015年を比較すると、2か国ともに低下していますが、人口政策が合計特殊出生率に直接的な影響を与えていると考えられる **X** が中華人民共和国です。

先生：そうですね。次に資料8から、人口ピラミッドを比較してみましょう。

アサミ：2か国の2015年の14歳以下の人口の割合を比較すると、少子化が著しい **Y** の方が、中華人民共和国だと思います。

先生：そうですね。資料を基に考えることができましたね。

	X	Y
①	ア	ウ
②	ア	エ
③	イ	ウ
④	イ	エ

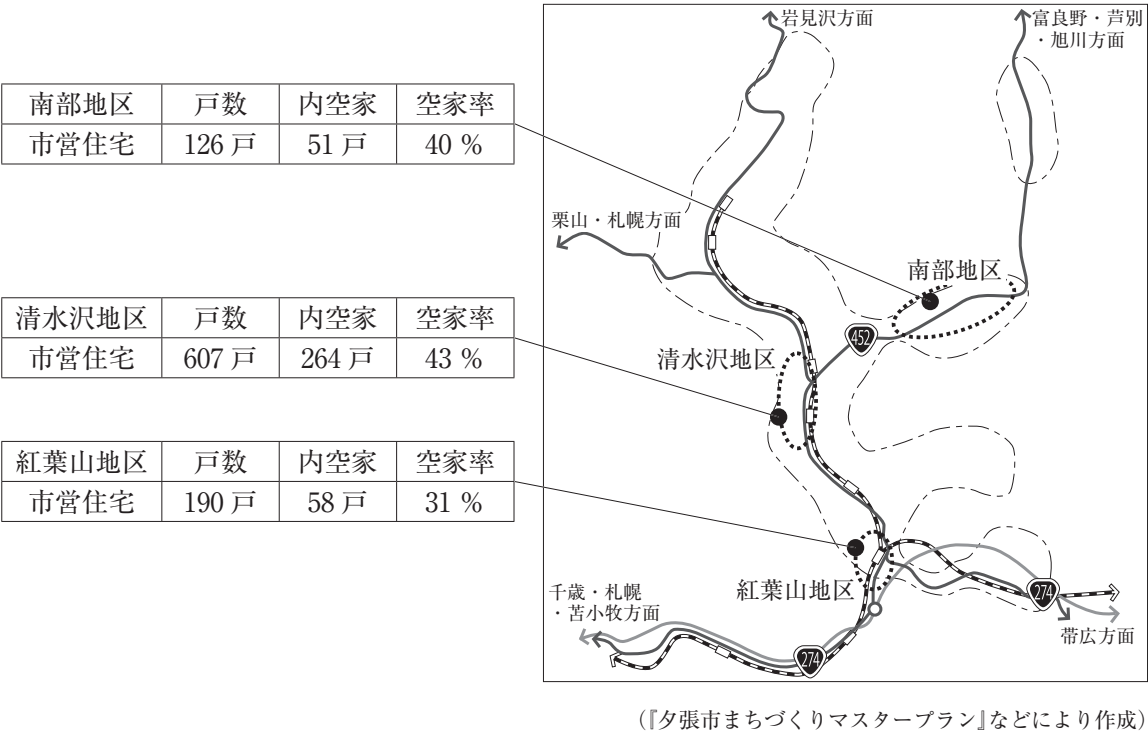
問 4 アサミさんたちは、北海道夕張市の都市計画に興味を持ち、資料 9 ～ 資料 11 を得た。資料 12 中のアサミさん、タクヤさん、ユキコさんの意見は、それぞれ資料 10 中の南部地区、清水沢地区、紅葉山地区のいずれかについて述べたものである。資料 10 中の地区名と資料 12 中の意見の組合せとして最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。

解答番号は 12。

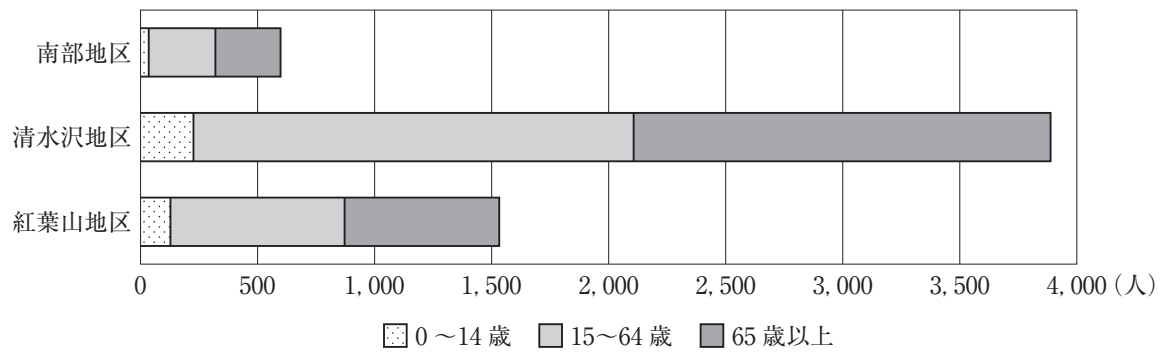
資料 9 夕張市の説明

夕張市は、明治 21 年(1888 年)に石炭が発見されて以来、「炭鉱のまち」として石炭産業とともに発展してきました。しかし、昭和 30 年代後半から炭鉱は相次いで閉山し、炭鉱は平成 2 年(1990 年)に姿を消しました。また、社会・経済状況の変化等により、厳しい財政状況の下、平成 19 年(2007 年)に財政再建団体の指定を受けました。現在、急速な人口減少・少子高齢化が進展しており、まちづくりとして、旧炭鉱住宅から移管された市営住宅の活用も求められています。

資料10 南部地区、清水沢地区、紅葉山地区の市営住宅の状況(2012 年)



資料11 南部地区、清水沢地区、紅葉山地区の人口と年齢別人口構成(2012年)



(『夕張市まちづくりマスタープラン』により作成)

資料12

アサミさん



夕張市の中心市街地にあたります。多くの市営住宅が集積していますが、老朽化した住宅もみられます。この地区を夕張市の将来の都市拠点と位置付け、開発を進めるといいと思います。

タクヤさん



小規模な市街地ですが、市営住宅の空家率は低く、他の地区と比較して、0～14歳の割合が高い地区です。夕張メロン農園や工業団地があり、今後の発展が期待できる地区だと思います。

ユキコさん



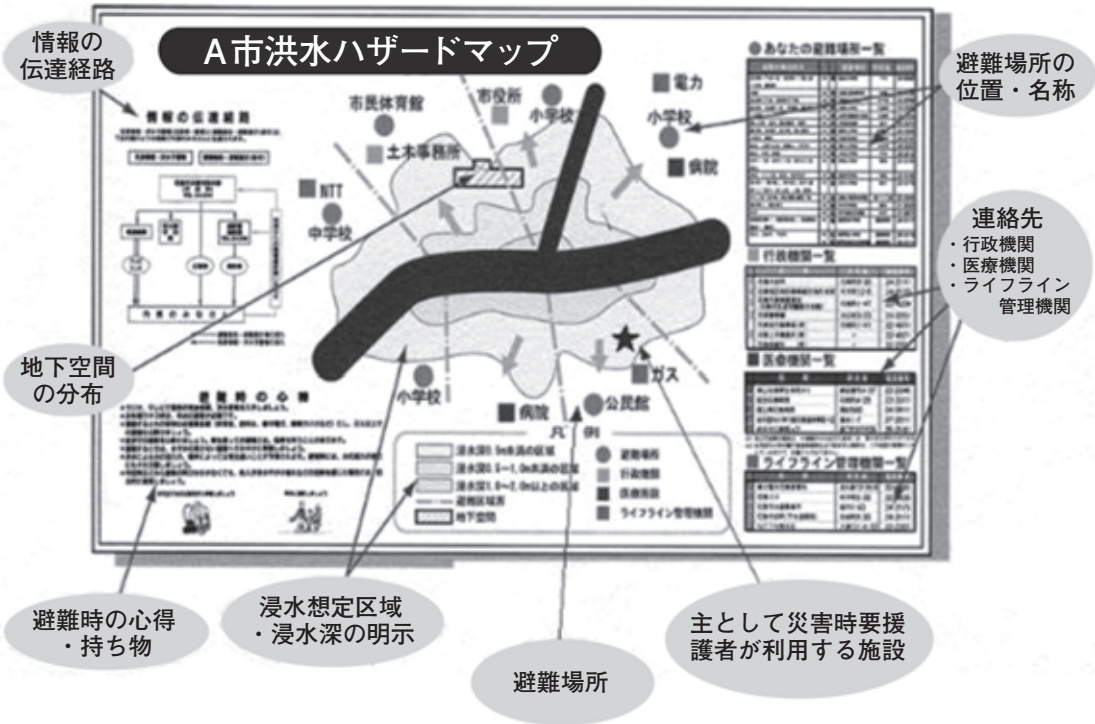
市内の中でも人口減少が著しい地区で、少子高齢化が進展しています。この地区は、交通の利便性にも原因があると考えられるため、他地区との交通ネットワークの整備を考えたいと思います。

	アサミさん	タクヤさん	ユキコさん
①	南部地区	清水沢地区	紅葉山地区
②	清水沢地区	紅葉山地区	南部地区
③	清水沢地区	南部地区	紅葉山地区
④	紅葉山地区	南部地区	清水沢地区

4 自然環境と防災，日常生活と結び付いた地図について，問 1～問 4 に答えよ。

問 1 アヤさんたちは，ハザードマップの役割について興味を持ち，資料 1 を得た。資料 1 を基に，アヤさんたちがハザードマップに関して述べた意見のうち不適切なものを，あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 13 。

資料 1 A 市における洪水ハザードマップの例



(<http://www.ktr.mlit.go.jp/tonejo/tonejo00127.html> により作成)

① アヤさんの意見

日ごろから避難経路を確認しておく必要があるため、洪水発生時の浸水想定区域だけでなく、学校や体育館などの避難場所を示している点が大切だと思います。

② マサキさんの意見

実際に洪水が発生すると、浸水想定区域や浸水深はハザードマップの想定どおりになるので、確実に安全な避難場所のみを明示しておく必要があると思います。

③ ハルカさんの意見

域内における洪水の地域特性を反映した避難時の心得や持ち物を示すために、ハザードマップの作成過程に地域住民が参加することが有効だと思います。

④ ユウシさんの意見

避難場所や医療機関との連携など、洪水に強いまちづくりを進めるために行政機関が避難計画の立案や災害対策を行うための資料となると思います。

問 2 アヤさんは、国際消防救助隊の活動に興味を持ち、資料 2 を得た。資料 2 中の X は、資料 3 中のア、イのいずれか、Y は、ウ、エのいずれかの地点における国際消防救助隊の活動について説明したものである。X、Y とア～エとの組合せとして最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 14。

資料 2 国際消防救助隊の派遣状況

X



- ・災害の種類：地震災害
- ・派遣年月日
：平成 17 年 10 月 9 日～10 月 18 日
- ・被害状況
：死者 73, 320 人 負傷者 128, 378 人
- ・活動概要
：建物倒壊現場での搜索救助活動ほか

Y



- ・災害の種類：森林火災
- ・派遣年月日
：平成 9 年 10 月 22 日～11 月 11 日
- ・被害状況：焼失面積 18, 000 ha
- ・活動概要
：火災地点の上空からの情報収集、
消火活動の助言

注) 国際消防救助隊とは、海外で大規模災害が発生した際に各自治体の消防本部から編成され被災地へ派遣される日本の救助隊である。

(『平成 27 年版 消防白書』などにより作成)

資料 3



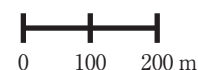
	X	Y
①	ア	ウ
②	ア	エ
③	イ	ウ
④	イ	エ

問 3 アヤさんは、登山中に使用した全地球測位システム(G P S)のデータから、資料 4 を作成した。また、資料 5 中の①～④は、資料 4 中のア～エのいずれかの区間のコース状況を記録したメモである。資料 4 中のイの区間について書かれたメモの内容として最も適切なものを、資料 5 中の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 15。

資料 4



注) コースはスタート地点(☆)から時計回りに 1 周したものであり、各区間は ● から ○ へと歩いたものである。



〔カシミール 3D〕により作成

資料5 各区間を●から○へと歩いた際のメモ

①

下りの途中で尾根から谷に入った。急な下りが続き、滑らないように注意して歩いた。下り終えると少し平坦になっており、ここで休憩した。

②

広場でしばらく休憩をとった後に再び歩き始めた。この区間はほとんどが平坦な道のりであったので、歩きやすかった。

③

ロープウェイ駅の近くまで行くと展望台があり、スタート地点が見えた。さらに登ると尾根沿いに平坦な道が続き、神社前の広場で休憩した。

④

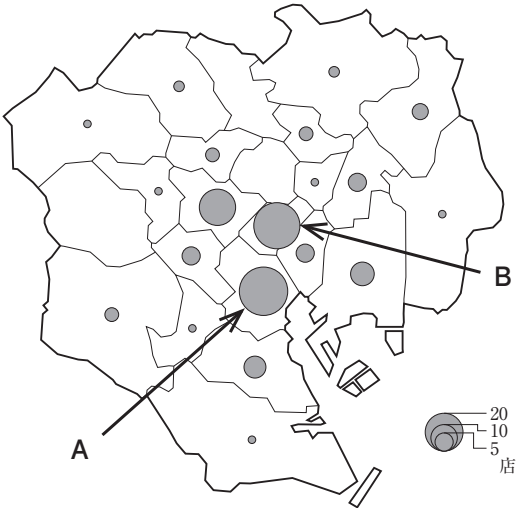
急な登りが続いたが、しばらく進むと進行方向の左手に平成新山が見えた。しかし、立ち入り禁止となっており、そちらへは行くことができなかった。

問 4 アヤさんは、資料6のように24時間営業をしていないコンビニエンスストアがあることを知り、東京都区部を対象とした資料7～資料9を作成した。これらの資料に関して、アヤさんと先生の会話文中の空欄 **X** に当てはまる説明文として最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **16**。

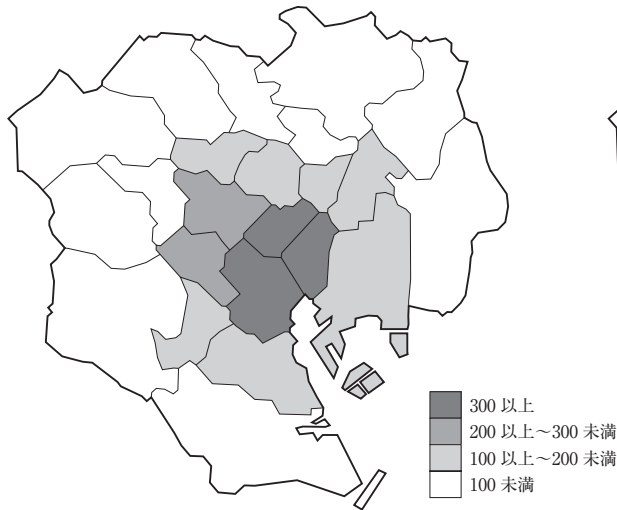
資料6



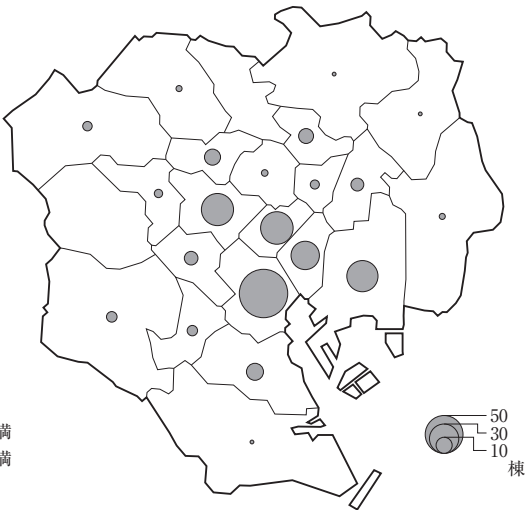
資料7 F社のチェーン店のうち24時間営業ではない店舗数(2016年11月現在)



資料8 昼夜間人口比率



資料9 30階以上の建築物数



(<http://www.toukei.metro.tokyo.jp/tyukanj/2010/tj-10index.htm> などにより作成)

ア ヤ：先生，資料6のように24時間営業ではないコンビニエンスストアを見かけました。そこで，東京都区部のあるコンビニエンスストアのチェーン店の店舗を調べてみると，資料7のようになりました。なぜAやBの区にはそのような店舗が多いのでしょうか。

先生：おもしろいですね。では，資料8と資料9を用いてその理由を考えてみましょう。

ア ヤ：資料8の昼夜間人口比率とは何ですか。

先生：昼夜間人口比率とは，夜間人口100人当たりの昼間人口を示したものであり，この値が100よりも大きければ昼間人口の方が多く，100よりも小さければ夜間人口の方が多いことを示しています。資料8と資料9から，なぜAやBの区には24時間営業ではないコンビニエンスストアが多いのか，その理由が分かるのではないのでしょうか。

ア ヤ：資料7中のコンビニエンスストアが24時間営業をしていないのは，AやBの区が X という理由が考えられますね。

先生：そうですね。他にも駅構内や病院内などにも多様な営業時間の店舗が見られます。このように，いくつかの地図を重ね合わせることで，その地域の特性が見えてきますね。

- ① 一戸建ての多い古くからの住宅地で，過疎化の進行によって住民の数が大きく減少しているため，消費者の数が少ない
- ② 郊外の幹線道路沿いに位置しており，広大な駐車場を備えた敷地面積の広い大型スーパーなどが多く建ち並ぶため，他店との競争が激しい
- ③ ファミリー層が多く住むベッドタウンであり，高層マンション内にある店舗が多いため，深夜から早朝にかけての売り上げが見込めない
- ④ 多くの事業所や行政機関が集中する高層建築物の多いオフィス街であり，ビル内にある店舗が多いため，営業時間以外は人通りが少ない

5 生活圏の地理的諸課題と地域調査に関して、問1～問4に答えよ。

問1 ユキノさんは、千葉県成田市の空港建設前後における地域の変容を調査するために、資料1と資料2を得た。これらの資料から読み取った文として不適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 17。

資料1



注) 新東京国際空港は、現在は成田国際空港へ名称が変更されている。
(国土地理院発行 50,000 分の 1 地形図「成田」, 昭和 53 年発行に一部加筆)